

		第一部 朗読の部	
		A：東京都日中友好協会 独自選定課題	B：全国大会予選
日時	10月13日(日)		
会場	渋谷区リフレッシュ氷川		
部門及び参加資格	東京都内に在住または在勤、在学の方。	東京都内に在住、在勤、在学の方。	
	<p>1【基礎部門】 2【応用部門】</p> <p>※但し、中国語を母語とする方は<u>出場できません。</u></p> <p>① 二部門とも学習方法、学習時間、国籍は問いません。 ② 課題文の内容により、【基礎部門】【応用部門】に分かれます。 ③ 東京都日中友好協会独自で選定した課題文であるため、全国大会への推薦はありません。</p>	<p>1【中学生・高校生の部】 2【大学生・大学院生の部】(専門学校生含む) 3【一般の部】(上記1・2以外の者)</p> <p>※但し、次の各項に該当する方は<u>出場できません。</u> ※上記1・2・3部門の共通条項</p> <p>① 日本国籍を有しない者。 ② 中国語を母語とする者および中国語を母語として学んだ経験がある者。 ③ 中国語を母語とする同居家族がいる者、またはいた者。 ④ 中国語を母語として授業を行っている学校(中華学校など)に在学中の者、または卒業した者。 ⑤ 中国語を日常的に業務上・生活上で使用したことのある者、または現在使用している者。 ⑥ 中国語を日常語とする地域に継続1ヶ月以上滞在した経験のある者。 ⑦ 高校、大学、専門学校において中国語を学科専攻している者(過去に専攻していた者も含む。)の中で都道府県大会出場時に学習期間が<u>2年を超えている者。</u> ⑧ 学科専攻以外の者(第二外国語、中国語教室等で学習)の中で都道府県大会出場時に学習期間が<u>4年を超えている者。</u>ただし、「一般部門」出場者に関しては、60歳以上で、初めて中国語学習を開始した者は学習期間を問わず出場できる。</p> <p>※【中学生・高校生の部】【大学生・大学院生の部】のみの<u>出場不可</u>共通条項 日本の該当する学校(専門学校含む。*注1)に在学していない者。(専門学校生、高専4年生以上は大学生・大学院生の部とする。) *注1 専門学校とは「専門士」の資格を与えられる学校を指す。</p>	
審査基準	基礎力および応用力・正確かつ流暢であるか。	発音、イントネーションが正確かつ流暢であるか。	
発表内容	課題文制、制限時間は3分以内。 ※課題文は認定NPO法人東京都日中友好協会にご請求ください(tel、fax、e-mail可)。 または当協会HPからダウンロードしていただいても結構です。	課題文制。 ※課題文は認定NPO法人東京都日中友好協会にご請求ください(tel、fax、e-mail可)。 または当協会HPからダウンロードしていただいても結構です。	
原稿	主催者の指定した課題文	主催者の指定した課題文	
応募規定	一人1部門のみ		
応募方法	①エントリー用紙と課題文を録音したものを9月9日(月)必着で送付願います。 ②音声で一次審査を行います。審査を通過した方には9月27日(金)までにご連絡します。		
送付方法	送付方法は4ページをご覧ください。		
表彰	部門別に高得点者を表彰します。	高得点者を表彰し、全国大会に推薦します。 ・中国大使館賞 1名	

第二部 弁論の部	
日時	10月13日(日)
会場	渋谷区リフレッシュ氷川
部門及び参加資格	<p>東京都内に在住、在勤、在学の方。</p> <p>1. 「大学生・大学院生の部」(専門学校生含む。) 2. 「高校生の部」 3. 「一般の部」 ※但し、次の各項に該当する方は<u>出場できません。</u> ※上記1・2・3部門の共通条項 ① 日本国籍を有しない者。 ② 中国語を母語(注1)とする者および中国語を母語として学んだ経験がある者。 ③ 中国語を母語とする同居家族がいる者、またはいた者。 ④ 中国語を母語として授業を行っている学校(中華学校など)に在学中の者、または卒業した者。 ⑤ 業務として中国語を日常的に使用したことのある者、または現在使用している者。 ⑥ 過去、全国大会において優勝した者。 *注1 母語とはその者の生活環境において使用されている言語(最初に自然に身につけた言語)</p> <p>【高校生の部】のみの出場不可条項 ①日本の高校に在学していない者 ②中国語を日常語とする地域に6ヶ月以上滞在したことのある者(ただし留学は除く)</p> <p>【一般の部】のみの出場不可条項 ① 2004年4月2日以降に生まれた者(すなわち中学生以下)。 ② 中国語を日常語とする地域に6ヶ月以上滞在したことのある者(ただし留学は除く) ③ 大学、大学院、専門学校(専門学校については大学生部門条項*注1を参照)に在学している者(ただし、出場時の年齢が30歳以上の場合はこれに限らない)。</p> <p>【大学生・大学院生の部】のみの出場不可条項 ① 日本の大学(含短大)、大学院、専門学校(*注1)、高専4年生以上に在学していない者。 ② 中国語を日常語とする地域に6ヶ月以上滞在したことのある者(ただし留学は除く) ③ 出場時の年齢が30歳以上の者(「一般部門」から出場すること)。 *注1 専門学校とは、「専門士」の資格を与えられる学校を指す。</p>
審査基準	<p>「高校生の部」「一般の部」「大学生・大学院生の部」(専門学校生含む。)共通 ・各人のスピーチと審査員による質疑応答(1分前後)を行う。</p> <p>① 正確な発音で流暢かつ豊かな口頭表現ができているか。※歌などのパフォーマンスは不可。 ② テーマに沿った内容で適切な中国語による論旨明晰な文章表現か。 ④ 内容を把握しており、質問に対して適切に答えられるか。</p>
発表内容	<p>制限時間は5分以内(テーマは自由)参考までに昨年の全国大会における受賞者のテーマを以下に記載します。</p> <p>大学生部門:「自動運転が切り開く人とコンピューターが共存する新時代」「直接話し、心つながる」「思いやりのバトンリレー」 高校生部門:「交流は日中友好の第一歩」「上海での迷子」「言葉を学ぶということ」 一般部門:「クラスメイトと外国人」「人生を変えた一冊」「カラオケで日中友好を深める」</p>
原稿	<p>中文・日本語訳文とも提出(中文1,000字以内)。一度提出された原稿の訂正には応じかねます。</p> <p>中国語原稿作成の場合 ① 用紙はA4を使用すること。 ② 1行目に2文字空けて中国語題名を記入する。 ③ 2行目に右詰で氏名を記入する。ただし、中国の漢字を使用する。 ④ 3行目は2文字空けてから本文を書き出し、各段落の始めは2字空ける。</p> <p>日本語原稿作成の場合 ① 用紙はA4を使用すること。 ② 1行目に2文字空けて日本語題名を記入する。 ③ 2行目に右詰で氏名を記入する、ただし、日本の漢字を使用する。 ④ 3行目は1文字空けてから本文を書き出し、各段落の始めは1字空ける。</p>
応募規定	一人1部門のみ
応募方法	<p>①エントリー用紙、原稿と原稿を録音したものを9月9日(月)必着で送付願います。 ②音声で一次審査を行います。審査を通過した方には9月27日(金)までにご連絡します。</p>
送付方法	送付方法は4ページをご覧ください。
表彰	<p>・東京都日本中国友好協会会長賞 1名 ・北京市人民对外友好協会会長賞 1名 ・優秀賞、特別賞 若干名 ※各部門の最優秀者を東京都代表として、全国大会に推薦します。 ★全国大会は2020年1月12日(日)</p>